

# 浦添市バドミントン協会

## 1 協会設立年月日

平成12年6月30日（2000年）

## 2 設立の経緯

### (1) バドミントン専門部の発足

昭和48年5月15日（1973年）の浦添市体育協会理事会の役員改選で、バドミントン部長に森義次氏が選任され、同年の第26回県民体育大会に同氏を監督に浦添市として初参加していることから、専門部の発足は、昭和48年頃と推察される。

県民体育大会には、第26回大会から参加し、昭和52年（1977年）第30回大会からは継続参加し現在に至っているが、第27回大会と第29回大会を欠場した状況もあり、昭和54年（1979年）当時の市体育協会事務局長の棚原恒雄氏から専門部の組織充実の促しがあった。

### (2) バドミントン専門部の活動

専門部としての活動は、その発足のキッカケとなった県民体育大会への選手派遣という形で始まったが、当時は選手選考会を持つというより、市内のバドミントン競技暦者（男女それぞれ3名）を探しだすことが大きな仕事であった。そのようなことから、専門部の活動目標として、「市内のバドミントン愛好者の拡大を図る」と、「県民体育大会で1回戦の壁を突破するため、競技力の向上を図る」ことを掲げ取り組んでいった。

#### ①自治会対抗バドミントン大会

バドミントン愛好者の拡大を図るため、昭和62年（1987年）に市体育協会の事業である自治会対抗バドミントン大会を開催し、以後毎年開催している。

現在は、市民レベルのバドミントン大会も年2回開催し、150組余のチームが参加するまでになっている。



平成5年自治会対抗バドミントン大会

#### ②「木曜会」の立ち上げ

競技力向上を図るため、継続して練習できる環境作りをした。

昭和63年（1988年）県民体育大会の選手団を中心にサークル「木曜会」を立ち上げ、毎週火、木曜日の2時間市民体育館で練習する場を確保した。木曜会の活動は現在も継続している。

その結果、1回戦の壁を突破するとともに安定した成績を残せるようになっていく。

平成10年（1998年）第50回大会で男女とも準優勝、平成12年（2000年）第52回大会で男子準優勝、平成13年（2001）の第53回大会で男子が念願の初優勝、翌年の第54回大会も制し2連覇を達成した。

以後、「木曜会」が専門部の活動、専門部から協会への移行等組織の拡充強化への大きな原動力となっている。

#### (3) バドミントン協会の発足

平成5年（1993年）ごろから、バドミントン協会の設立について話題が上がり、平成11年の蒲都市との交流事業を期に、組織の充実を図ることが痛感され、具体的取り組みへとつながっていった。

平成12年（2000年）、「木曜会」を中心とした設立準備会で組織の骨子を作成、市内でサークル活動をしているリーダーを含めた発起人会で

組織内容を確認し、規約の原案を作成、平成12年6月30日（2000年）の設立総会で浦添市バドミントン協会が発足した。

### 3 協会役員

会 長 比嘉 鉦由  
副 会 長 中本ジャコボ・ジュニア  
尾本美智子  
事務局長 翁長 明美  
会 計 仲田ゆかり、平良洋子  
監 事 比嘉康弘、渡口満子  
指導・強化部長 荷川取秀人  
理 事 砂川昌浩、真栄城剛  
香村光邦、伊良部政務  
宮良耕太郎、野原睦枝  
玉城正信、新川悟

### 4 年間の事業

4月～5月 バドミントン祭り  
8月 自治会対抗試合  
9月 てだこバドミントン大会  
11月 県民体育大会  
2月 ランク別バドミントン大会

### 5 現在の競技人口、加盟団体

現在、加盟制度は取り入れていないが、競技団体は次のとおりである。

市内小中学校体育館利用サークル  
23団体  
市民体育館利用サークル  
30団体

### 6 県民体育大会の軌跡

県民体育大会に浦添市として参加したのは、本土復帰の翌年、昭和48年（1973年）第26回大会からである。

#### 第26回県民体育大会

期間：昭和48年11月10日～11日  
場所：中部商業高等学校体育館

参加チーム：男子5、女子3

選手団：

監督 森 義次  
男子 知花秀康、知念英樹  
女子 宮里美佐子、石原初子  
成績：総合3位

#### 第27回県民体育大会

期間：昭和49年9月15日～16日  
場所：那覇商業高等学校体育館  
参加チーム：男子7、女子4  
浦添市不参加

#### 第28回県民体育大会

期間：昭和50年9月13日～14日  
場所：那覇商業、那覇高等学校  
参加チーム：男子8、女子8  
選手団：監督、男子3人、女子3人  
成績：5位～8位

#### 第29回県民体育大会

期間：昭和51年11月13日～14日  
場所：山内中学校体育館  
参加チーム：男子7、女子7  
浦添市不参加

#### 第30回県民体育大会

期間：昭和52年11月12日～13日  
場所：名護中学校体育館  
参加チーム：男子10、女子10  
選手団：男子監督、選手4人  
女子監督、選手4人  
成績：5位～8位

#### 第31回県民体育大会

期間：昭和53年11月18日～19日  
場所：八重山商工高等学校体育館  
参加チーム：男子9、女子10

選手団：監督、男子3人、女子3人

#### 第32回県民体育大会

期間：昭和54年11月17日～18日  
場所：美里高等学校体育館  
参加チーム：男子10、女子9  
選手団：監督、男子4人、女子3人

### 第33回県民体育大会

期間：昭和55年11月15日～16日  
場所：北山高等学校体育館  
参加チーム：男子10、女子9  
選手団：監督、男子3人、女子4人  
成績：女子5位～8位

### 第34回県民体育大会

期間：昭和56年11月21日～22日  
場所：宮古工業高等学校体育館  
参加チーム：男子11、女子10  
選手団：監督、男子3人、女子4人  
成績：女子5位～8位

### 第35回県民体育大会

期間：昭和57年11月20日～21日  
場所：美里高等学校体育館  
参加チーム：男子11、女子10  
選手団：監督、男子3人、女子4人

### 第36回県民体育大会

期間：昭和58年11月19日～20日  
場所：石川高等学校体育館  
参加チーム：男子11、女子11  
選手団：監督、男子4人、女子3人

### 第37回県民体育大会

期間：昭和59年11月17日～18日  
場所：糸満高等学校体育館  
参加チーム：男子11、女子11  
選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手5人

### 第38回県民体育大会

期間：昭和60年11月16日～17日  
場所：与勝高等学校体育館  
参加チーム：男子11  
選手団：(男子のみ参加)  
監督、選手6人

### 第39回県民体育大会

期間：昭和61年11月15日～16日  
場所：糸満市西崎総合体育館  
参加チーム：男子10、女子10  
選手団：監督、男子6人、女子6人

### 第40回県民体育大会

期間：昭和63年11月20日～21日  
場所：糸満市西崎総合体育館  
参加チーム：男子11、女子11  
選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手4人  
成績：男子4位

### 第41回県民体育大会

期間：平成元年11月18日～19日  
場所：石川市営体育館  
参加チーム：男子11、女子11  
選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手6人  
成績：女子4位

### 第42回県民体育大会

期間：平成2年11月17日～18日  
場所：名護商業高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：  
男子監督 棚原義雄  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
砂川昌浩、新垣 努  
藤岡 徹  
女子監督 比嘉鉦由  
選手 翁長明美、仲村美香  
本田和代、砂川久子  
与那覇りえ、西 美香  
成績：女子3位

### 第43回県民体育大会

期間：平成3年11月16日～17日  
場所：糸満市西崎総合体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手6人  
成績：男女5位～8位

### 第44回県民体育大会

期間：平成4年11月21日～22日  
場所：八重山商工高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12

選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手6人  
成績：男女5位～8位

#### 第45回県民体育大会

期間：平成5年11月27日～28日  
場所：南風原高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：

男子監督 棚原義雄  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
砂川昌浩、藤岡 徹  
新垣 努、砂川芳彦  
女子監督 玉城正信  
選手 翁長明美、仲村美香  
本田和代、砂川久子  
羽地ユキ、西 美香

成績：男子準優勝、女子4位

#### 第46回県民体育大会

期間：平成6年11月19日～20日  
場所：美里高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：男子監督、選手6人  
女子監督、選手6人

成績：男子4位、女子5位～8位

#### 第47回県民体育大会

期間：平成7年11月18日～19日  
場所：名護高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：

男子監督 棚原義雄  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
砂川昌浩、藤岡 徹  
崎原利悦、新垣 実  
女子監督 玉城正信  
選手 翁長明美、仲村美香  
砂川久子、石川理美  
羽地ユキ、宮城理絵子

成績：男子準優勝、女子5位～8位

#### 第48回県民体育大会

期間：平成8年11月23日～24日  
場所：糸満市西崎総合体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：

男子監督 比嘉鉦由  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
砂川昌浩、藤岡 徹  
崎原利悦、砂川芳彦  
女子監督 玉城正信  
選手 翁長明美、仲村美香  
砂川久子、石川理美  
羽地ユキ、宮城理絵子

成績：男子5位～8位、女子3位

#### 第49回県民体育大会

期間：平成9年11月29日～30日  
場所：宮古高等学校体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：

男子監督 中本ジャコボ・ジュニア  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
砂川昌浩、藤岡 徹  
崎原利悦、砂川芳彦  
女子監督 砂川久子  
選手 翁長明美、仲村美香  
本田和代、石川理美  
羽地ユキ、宮城理絵子

成績：女子準優勝

#### 第50回県民体育大会

期間：平成10年11月27日～28日  
場所：糸満市西崎総合体育館  
参加チーム：男子12、女子12  
選手団：

男子監督 中本ジャコボ・ジュニア  
選手 荷川取秀人、砂川博和  
照屋 勉、藤岡 徹  
崎原利悦、砂川芳彦  
女子監督 玉城正信  
選手 翁長明美、照屋美香

本田和代、砂川久子  
石川理美、宮城理絵子

成績：男子準優勝、女子準優勝



県民体育大会で活躍する浦添市の選手たち

#### 第51回県民体育大会

期間：平成11年11月27日～28日

場所：石川市体育館

参加チーム：男子12、女子12

選手団：男子監督、選手7人  
女子監督、選手7人

成績：女子5位～8位

#### 第52回県民体育大会

期間：平成12年11月25日～26日

場所：名護高等学校体育館

参加チーム：男子12、女子12

選手団：

男子監督 比嘉鉦由

選手 藤岡 徹、砂川昌浩

荷川取秀人、砂川博和、

崎原利悦、新川 悟

中本ジャコボ・ジュニア

女子監督 玉城正信

選手 翁長明美、宮城理絵子、

照屋美香、尾本美智子、

平良洋子、公文恵子

中本美香

成績：男子準優勝、女子5位～8位

#### 第53回県民体育大会

期間：平成13年11月24日～25日

場所：豊見城高等学校体育館

参加チーム：男子12、女子12

選手団：

男子監督 中本ジャコボ・ジュニア

選手 藤岡 徹、崎原利悦

奥平清正、砂川博和

新垣明由、荷川取秀人

砂川昌浩

女子監督 玉城正信

選手 宮城理絵子、川満智恵子

砂川久子、尾本美智子、

荷川取民子、翁長明美

平良洋子

成績：男子優勝、女子5位～8位



平成13年第53回県民体育大会 男子初優勝

#### 第54回県民体育大会

期間：平成14年11月23日～24日

場所：八重山農林高等学校体育館

参加チーム：男子13、女子13

選手団：

男子監督 中本ジャコボ・ジュニア

選手 藤岡 徹、砂川昌浩

荷川取秀人、照屋 勉

崎原利悦、砂川博和

奥平清正

女子監督 玉城正信

選手 翁長明美、宮城理絵子  
照屋美香、尾本美智子  
砂川久子、本田和代

成績：男子優勝、女子8位～13位



平成14年度第54回県民体育大会 二連覇

## 7 友好都市「蒲郡市」との交流

浦添市のスポーツ交流事業で平成9年9月(1997年)、友好都市である愛知県蒲郡市とバドミントン交流を行った。中本ジャコボ・ジュニア専門部長以下、総勢21名で蒲郡市を訪問し、交流試合を通して気持ちよい汗を流し、晩の交流会では、かくし芸を披露する等大いに盛り上がり、友好の絆を結ぶことができた。

2年後の平成11年11月(1999年)には、蒲郡市のバドミントン関係者28名の訪問を受け、再会の交流試合、交流会を行い友好の絆を確認しあうことができた。



バドミントン交流(友好都市蒲郡市)

## 8 全国スポレク祭(広島県)参加

平成14年10月(2002年)、広島県で開催された第15回全国スポーツレクリエーション祭に沖縄県代表として、木曜会で結成した「てだこチーム」が参加し、全国Aパート(勝者組)で3位

入賞を果たした。沖縄からは、県教育庁が所管し18種目に165人が参加する大きな大会だった。

### 年齢別バドミントン競技

参加数 全国50チーム(韓国2)

チーム構成 監督、50代混合、40代女子、  
30代男子のダブルス、補員2、  
合計9名



照屋勉監督と「てだこチーム」



第15回全国スポレク祭年齢別バドミントン大会  
入場行進

対戦相手 静岡県、奈良県、栃木県に勝利、  
新潟県に敗退

## 9 今後の課題と展望

協会が発足してまだ3年目であり、生涯スポーツとしてバドミントン競技の普及拡大が課題である。市内でクラブ活動している学校が少ないので、小学校、中学校、高校、一般と連続性のある地域活動を創出することを考えている。

今後とも、浦添市体育協会並びに市内バドミントンサークルの皆さんの御理解と御協力を得て、組織の充実を図り、バドミントン競技の普及、発展に努めたい。

浦添市自治会対抗バドミントン大会近年の成績表

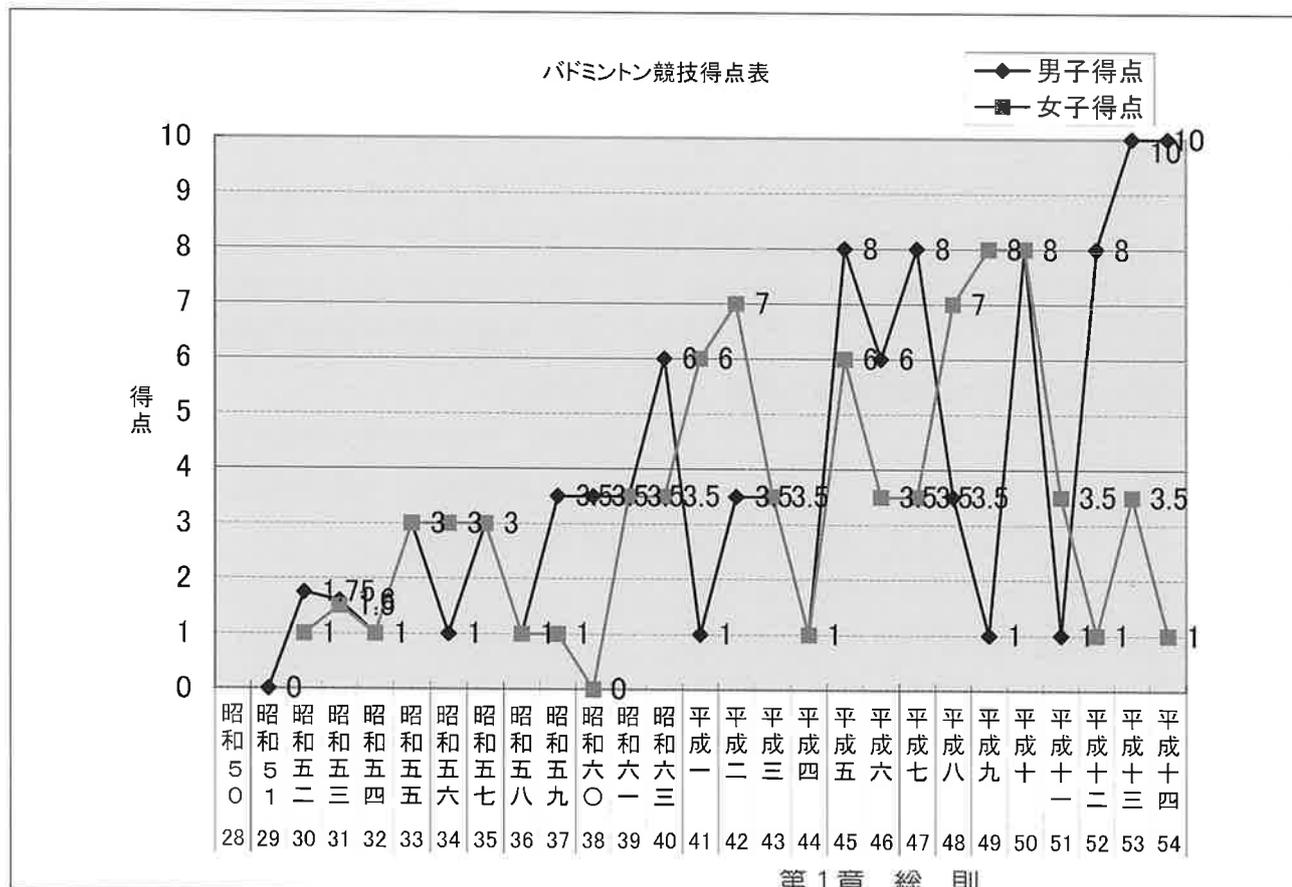
大会数	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		第13回		第14回		第15回		第16回				
	男子	女子	男子	女子																															
元号	昭和62年	昭和63年	昭和63年	昭和63年	平成2年	平成2年	平成2年	平成2年	平成3年	平成3年	平成3年	平成4年	平成4年	平成5年	平成5年	平成6年	平成6年	平成7年	平成8年	平成8年	平成9年	平成9年	平成10年	平成10年	平成11年	平成11年	平成12年	平成12年	平成13年	平成13年	平成14年				
西暦	1987年	1988年	1988年	1988年	1990年	1990年	1990年	1990年	1991年	1991年	1991年	1992年	1992年	1993年	1993年	1994年	1994年	1995年	1996年	1996年	1997年	1997年	1998年	1998年	1999年	1999年	2000年	2000年	2001年	2001年	2002年				
参加自治会数	8	2	5	4	3	3	3	3	資料なし	資料なし	資料なし	8	5	8	3	3	6	5	4	5	6	7	9	10	3	4	7	10	8	8	6				
1 牧港																																			
2 小浜																																			
3 屋敷																																			
4 仲西																																			
5 前田																																			
6 安波茶																																			
7 榎塚																																			
8 勢理客																																			
9 仲間																																			
10 宮城																																			
11 大平																																			
12 沢岬																																			
13 当山																																			
14 西原																																			
15 伊祖																																			
16 港川																																			
17 城間																																			
18 内間																																			
19 広栄団地																																			
20 桑山団地																																			
21 蔵ヶ丘																																			
22 浦城																																			
23 ニュータウン																																			
24 牧港ハイイツ																																			
25 グリーンハイイツ																																			
26 浅野浦																																			
27 前田公認員住宅																																			
28 港川崎原																																			
29 上野																																			
30 マチナトタウン																																			
31 浦西団地																																			
32 仲森																																			
33 安川団地																																			
34 当山ハイイツ																																			
35 浦添ハイイツ																																			

# 沖縄県民体育大会における浦添市選手団の成績

## バドミントン競技 (昭和41年～)

浦添市 昭和48年～

回	年	元号	市の成績			回	年	元号	市の成績		
			男子	女子	混成				男子	女子	混成
26	1973	昭和48			6	41	1989	平成元	1	6	
27	1974	昭和49	不参加			42	1990	平成2	3.5	7	
28	1975	昭和50			2.5	43	1991	平成3	3.5	3.5	
29	1976	昭和51	不参加			44	1992	平成4	1	1	
30	1977	昭和52	1.75	1		45	1993	平成5	8	6	
31	1978	昭和53	1.6	1.5		46	1994	平成6	6	3.5	
32	1979	昭和54	1	1		47	1995	平成7	8	3.5	
33	1980	昭和55	3	3		48	1996	平成8	3.5	7	
34	1981	昭和56	1	3		49	1997	平成9	1	8	
35	1982	昭和57	3	3		50	1998	平成10	8	8	
36	1983	昭和58	1	1		51	1999	平成11	1	3.5	
37	1984	昭和59	3.5	1		52	2000	平成12	8	1	
38	1985	昭和60	3.5	不参加		53	2001	平成13	10	3.5	
39	1986	昭和61	3.5	3.5		54	2002	平成14	10	1	
40	1988	昭和63	6	3.5							



第1章 総則

(名称)

# 浦添市バドミントン協会規約

第1条 本会は浦添市バドミントン協会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は理事会の承認を得た場所に置く。

## 第2章 目的

(目的)

第3条 本会は浦添市体育協会の下にバドミントン活動をとあして、バドミンントンの技術・競技力の向上と親睦を図るとともに、一般市民へのバドミンントンの普及振興に寄与することを目的とする。

## 第3章 事業

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 年間計画に基づく競技会、講習会、研修会等の開催
- (2) 他の機関、団体等の主催する競技会、講習会、研修会等への参加及び協力
- (3) バドミントンサークル、一般市民のバドミントン活動に関する指導、援助及び普及宣伝
- (4) その他、本会の目的達成に必要な事業

## 第4章 組織・役員

(組織)

第5条 本会は浦添市に住所を有する者及び浦添市出身者、浦添市内に職場を有する者、浦添市内でバドミントン活動をしている者並びに団体で組織する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名

(3) 事務局長 1名

(4) 理事 若干名

(各サークルから1名)

(5) 会計 2名

(6) 監事 2名

(役員を選任及び任期)

第7条

(1) 会長、副会長、事務局長、会計は理事の互選とする。

(2) 役員を選任は理事会で行う。

(3) 役員任期は2年とし、再任を妨げない。また、欠員により選任された役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第8条 役員職務は次のとおりとする。

(1) 会長は本会の業務を総理し、本会を代表する。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合はその職務を代行する。

(3) 事務局長は、会長、副会長を補佐し、理事会の決議に基づき本会の業務を掌理する。

(4) 理事は、理事会を組織し、本会の決議し執行する。

(5) 会計は本会の出納に関する事務を行う。

(6) 監事は会計を監査し理事会に報告する。

(理事会)

第9条 本会に役員で構成する理事会を置く。

2 理事会は、会長が招集し、事務局長が議長を務める。

3 理事会は年間行事、予算・決算、役員、会則等について議決する。

(会議の定足数等)

第10条 会議は役員総数の過半数の出席がなければ開くことができない。但し、出席できない場合は他の役員に委任することができる。

2 会議の議決は出席役員過半数で決し、可否同数の場合は、議長の決するところによ

る。

## 第5章 会 計

### (予算・決算)

第11条 本会の予算は毎会計年度開始前に理事会の議決により定め、決算は年度終了後3月以内に監事の監査を経て理事会の承認を得なければならない。

### (収入)

第12条 本会の収入は、登録料、大会参加料、補助金、寄附金、その他の収入を充てる。

### (支出)

第13条 本会の支出は、理事会の議決を経た事項について行う。但し、やむを得ない事情がある場合においては、会長の同意を得て支出し理事会の承認を受けなければならない。

### (会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第6章 規約の改廃

### (特別決議)

第15条 本会の規約の改廃は、理事会において出席役員の2/3以上の同意がなければならない。

### 附 則

この規約は、平成12年6月30日から施行する。